

1

事前準備・施設運営体制

目標： 平時から準備を整え、運営体制を組織化する

①医療機関との連携強化②感染対策の徹底③療養体制の確保

①平時の準備

- 感染対策委員会を設置し、定期的に委員会を開催するなど組織的に感染対策を実施する
- 感染対策指針・マニュアルを作成し、常に最新なものに改訂しておく(最低年1回の改訂)
- 定期的な感染対策職員研修の実施
- 感染拡大時の机上シミュレーションを実施、訓練する
- 業務継続計画(BCP)を作成し、感染拡大期における業務計画や人材確保、事業運営を明確にしておく
- 通常は病室単位のゾーニングとする。感染状況に応じたゾーニング区分を決めておく
- 病室単位の感染性廃棄物容器の設置場所、ガウン着脱場所を決めておく

②感染拡大時の指揮・命令

- 感染拡大時の役割分担を明確にする
【例】 ○本部長 ○外部との窓口担当 ○職員統括
○利用者統括 ○設備備品統括等
- 情報共有を行う表示スペースを確保する

③感染拡大時の職員配置

- 通常のシフトは、ユニットごとに分けて配置する
ユニット間のスタッフ移動は、リスクと捉える
- 感染者発生時の役割分担を計画する